

## 《女川原子力発電所1号機の廃止を決定しました》

10月25日、当社は、女川1号機を廃止することを決定しました。

当社は、原子力に限らず、発電設備に関しては、安全確保を大前提に、安定供給、経済性、環境適合の観点から総合的に評価し、将来を見据えて、運転を継続するのか廃止にするのかなどについても、常々検討を行っています。

現在、女川2号機の新規制基準への適合性審査が進捗しており、新たな安全対策設備の設置を進めていますが、女川1号機において、今後、女川2号機と同様の設備の追加設置を検討した場合、必要なスペースが不足しており、同等の安全性向上対策を行うための技術的な制約が大きいと評価しました。

こうした技術的な評価に加えて、発電機の出力規模や再稼働した場合の運転年数などを総合的に勘案した結果、女川1号機を廃止することを決定しました。

女川1号機は、当社として初めて手掛けた原子力発電所であり、1968年に建設地点として計画を公表して以降、地元の皆さまをはじめとする多くの皆さまに支えられながら、当社における電力の安定供給の一翼を担ってきました。

建設計画の公表から今日に至るまで、半世紀もの長きにわたり、多大なご尽力を賜りました関係者の皆さま、そしてご理解とご協力をいただきました地域の皆さまに、深く感謝を申し上げます。

今後、女川1号機については、安全確保を最優先に廃止措置に取り組むとともに、地域の皆さまへ適切な情報提供を行ってまいります。

一方で、再稼働を目指す女川2号機などに経営資源を投入し、新規制基準への適合性ととどまらず、さらなる安全レベルの向上に向けた取り組みを着実に進めるとともに、地域の皆さまからのご理解をいただきながら、早期の再稼働に向けて全力で取り組んでまいります。



女川原子力発電所1号機

営業運転開始日	1984年6月1日
発電機出力	52.4万kW
総発電電力量	830億kWh ※1,2

※1 稼働実績がある2010年度末までの累計  
※2 宮城県内の電力需要(2017年度実績:144.3億kWh)の約6年分に相当

## 《「平成30年度原子力防災訓練」を実施しました》

10月30日、当社は、女川原子力発電所をはじめ、仙台市にある本店や宮城支店、東京支社等による「平成30年度原子力防災訓練」を実施しました。

今回の訓練は、宮城県内陸部で地震が発生し、その後、機器故障により「原子炉格納容器内での冷却水漏えい」や「原子炉停止機能の故障」、「外部電源を含むすべての交流電源の喪失」などの事象が次々に発生する想定で行いました。

今回の訓練を通じて、複数の事象が重なって発生した場合でも、社内の情報共有や社外への情報発信、設備や機能の復旧対応が迅速かつ適切に実施できることを確認しました。

今後もさまざまな訓練を通じ、災害時における対応力の維持・向上に努めてまいります。



迅速・的確な指示・情報伝達を行う発電所対策本部

## 《女川原子力PRセンター「収穫祭2018」を開催しました》

10月28日、女川原子力PRセンターにおいて、「収穫祭2018」を開催しました。

この収穫祭は、地域の皆さまへ日頃の感謝の気持ちを込めて開催しているものです。

当日は、600名を超えるたくさんの地域の皆さまにご来館いただき、爽やかな秋晴れの下、同PRセンター敷地内にある果樹園「スイートガーデン」で育てた「りんご・さつまいも」の収穫体験をはじめ、石巻・女川地域で活動している団体によるステージショーなどをお楽しみいただきました。



りんご狩りを楽しむ参加者



地元団体によるステージショーで盛り上がる屋外会場



女川潮騒太鼓「轟会」による太鼓演奏

## 《「第7回東北電力杯女川・牡鹿親睦交流グラウンド・ゴルフ大会」が開催されました》

10月3日、「第7回東北電力杯女川・牡鹿親睦交流グラウンド・ゴルフ大会」(主催:女川グラウンド・ゴルフ協会、協賛:東北電力(株)女川原子力発電所)が女川町総合運動場第二多目的運動場で開催されました。

当日は、天候にも恵まれ、女川地区および牡鹿地区から80名が参加し、日頃の練習の成果を発揮しました。



秋晴れの下、プレーを楽しむ選手たち



大会に参加された女川・牡鹿地区の皆さん

## 《「第22回東北電力杯家庭バレーボール大会」が開催されました》

10月14日、「第22回東北電力杯家庭バレーボール大会」(主催:女川家庭バレーボール協会、協賛:東北電力(株)女川原子力発電所)が女川町総合体育館で開催されました。

当日は、女川原子力発電所からも3チームが参加し、全10チーム(約100名参加)による熱戦が繰り広げられました。



優勝を目指し熱戦を繰り広げる選手たち



《大会結果》

優勝	Zero(女川町)
準優勝	ドラえもん(石巻市)
第三位	タックル(女川町) ピーナッツフレンズ(女川町)

## 《「東北電力こんにちは人形劇」を開催しました》

石巻市立鮎川小学校、女川町勤労青少年センターの2会場において、地域の保育園児、小学生を対象とした「東北電力こんにちは人形劇」を開催しました。子どもたちは、楽しい物語の世界に引き込まれ、目をキラキラさせながら食い入るように観劇を楽しみました。



9月11日、石巻市立鮎川小学校で「鶴の恩返し」を上演

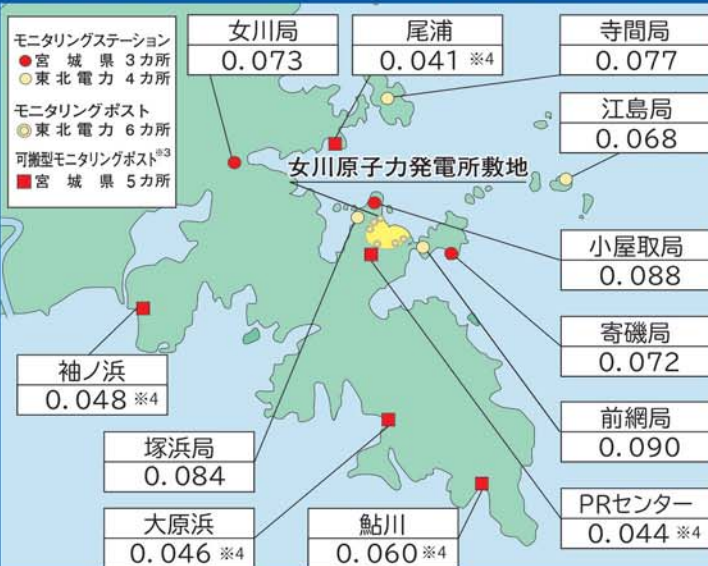


10月11日、女川町勤労青少年センターで「ねずみのすもう」を上演

## 《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.050マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。

### モニタリングステーションの測定状況(10/31現在)



### (参考) モニタリングポストの最小値と最大値

〈東北地方太平洋沖地震発生日〉	測定値
2011年3月11日	0.027~0.064
〈地震発生後最大値〉	
2011年3月13日	1.8~21 ※4 ※5
〈地震発生以降毎年度(4/1)の値と至近値〉	
2012年4月1日	0.063~0.098 ※4
2013年4月1日	0.055~0.076 ※4
2014年4月1日	0.046~0.065 ※4
2015年4月1日	0.043~0.077 ※4
2016年4月1日	0.041~0.061 ※4
2017年4月1日	0.038~0.059 ※4
2018年4月1日	0.037~0.048 ※4
2018年10月1日	0.036~0.059 ※4
2018年10月31日	0.037~0.050 ※4

単位: マイクロシーベルト/時

※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されています。  
 ※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。  
 ※3 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。  
 ※4 モニタリングポストや可搬型モニタリングポストの測定値は、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響分が含まれないため、モニタリングステーションの測定値より0.02~0.04マイクロシーベルト/時程度低い測定値となっています。  
 ※5 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。